

平成29年7月25日付けで公告した「平成29年度国有林材の安定供給システムによる販売(第2次)」について、協定者を以下のとおり決定しましたので結果を公表します。

### 平成29年度国有林材の安定供給システム(第2次)協定者

整理番号	協定者	該当森林管理署	物件番号	代表樹種	長級(m)	協定数量(m3)	企画提案内容の概要
1	青森県森林整備事業(協)・十和田機寸軸木(株)・加賀木材(株)・(有)川崎造材・工藤林業(株)・青い森国土保全(協)	下北	7・8	スギ	4.00~2.00	12,100	<ul style="list-style-type: none"> <li>集荷範囲を絞り運搬コスト及び管理費の節減を図る。</li> <li>外材原木から国産材にシフトし、一層の増産体制をとり、国産材の利用拡大を図る。</li> <li>原木の欠点部分について、オンサイト連続炭化炉による木炭製品の製造を行う。</li> <li>梱包材・パレット生産工場での雇用を拡大し、地域への貢献を図る。</li> </ul>
2	青森県森林組合連合会	津軽 金木 青森 三八上北	1・2 3・4 5・6 11・12	スギ、 カラマツ外	4.00~2.00	44,650	<ul style="list-style-type: none"> <li>山元直送販売、海上輸送販売、木材センター販売の中から効率的なものを選択し対応する。</li> <li>官民連携し、供給先のニーズに応じた規格を大口ロットで安定供給する。</li> <li>小径木を杭材として加工生産し、震災復興事業(海岸防災林事業)等に有効利用する。</li> <li>月毎に需要者側との意見交換を行い、合理的な生産を行うことにより、安定かつ効率的な原木流通を行う。</li> </ul>
3	青森県木材協同組合	下北 三八上北	9・10 13・14・ 15	スギ、 カラマツ外	2.00	19,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣地域のトラック業者数社と契約し、柔軟・効率的な運搬を行う。</li> <li>為替変動があった場合も国有林材(国産材)の調達を最優先する。</li> <li>おが粉、樹皮等を含め、ほぼ100%活用し、林地残材・未利用間伐材の有効利用を図る。</li> <li>青森県木材利用推進協議会会員として、県産材や地域利用・促進、合法木材の利用拡大を図る。</li> </ul>
4	ノースジャパン素材流通協同組合	宮城北部 湯沢	35 51	スギ	4.00~2.00	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラックの稼働率を向上するため受入先の情報提供や空車率を最小限に抑え帰り荷利用により流通コストの削減を図る。</li> <li>原木の品質による仕分納入、山元選別による最適径級の供給を行う。</li> <li>伐採・造林の一貫作業を実施事業として取組、低コスト再造林等、地域の林業への貢献を図る。</li> <li>需要者側との情報・意見交換を緊密に行い、流通コーディネータの役目を果たす。</li> </ul>
5	株式会社玉山製材所	岩手北部 盛岡 遠野	18 27 33	スギ、 カラマツ	4.00~2.00	4,650	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社開発の残存型枠「堰堤のはめ込み式木製化粧パネル」の出荷により木材産業への貢献を図る。</li> <li>海岸防災林再生工事で使用する防埃柵や丸太柵に使用し有効利用する。</li> <li>自社のグループ付大型トラックで、近隣に設置した土場から工場へ原木の効率的な運搬を行うことにより、運搬コストの削減、製品置場の確保を図る。</li> <li>円柱加工機で丸棒に剥く時に出る樹皮を木質バイオマス発電燃料チップ用、おが粉は酪農家用に供給する。</li> </ul>
6	岩手県森林組合連合会	盛岡 遠野	29 34	スギ、 カラマツ外	2.00	3,900	<ul style="list-style-type: none"> <li>山元からの直送販売により中間経費を削減する。中間土場に集積する場合は、トレーラーを活用し運搬経費の削減を図る。</li> <li>石炭混焼用バイオマス、バイオマス発電所への供給を推進する。</li> <li>岩手県の指導のもと、松くい虫被害材の有効利用方を講じる。</li> <li>民国連携による協同施業団地を通じ、民有林の搬出間伐を促進し、林家の所得向上を図る。</li> </ul>
7	株式会社柴田産業	岩手北部	16・17	スギ、 アカマツ外	2.00	3,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新高性能林業機械の導入、更新により生産性向上を図る。</li> <li>乾燥機導入による付加価値の向上に取り組み、非住宅分野での通年利用も計画する。</li> <li>移動式粉碎機を用い、林地残材を粉碎し、バイオマス発電燃料として供給する。</li> <li>畜産向け敷き料の開発により、資源の100%活用を図る。</li> </ul>
8	物林株式会社	仙台	38	スギ、 カラマツ外	4.00~2.00	1,080	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSを利用した山元でのスムーズなトラック運行により流通経費の削減、運転手の疲労軽減を図る。</li> <li>サプライチェーン全体での効率化、コスト低減へ取り組む。</li> <li>保存処理材のAQ認定を取得、防腐・防蟻性能を高めた商品の製造を行う。</li> <li>構造用合板のフェイスバック材にアカマツをした合板を製品化し新規需要を開拓する。</li> </ul>
9	岩手県森林整備協同組合	岩手北部 盛岡	19・20 28	スギ、 アカマツ外	4.00~2.00	9,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な設備投資により生産性及び品質・安全の向上を図る。</li> <li>岩手県の指導のもと、松くい虫被害材の有効利用方を講じる。</li> <li>素材生産者として、一貫作業によるスマート林業を目指し、森林資源の有効利用を図る。</li> <li>柱角用、パレット材、土台用材を生産することにより、県内外の復興住宅用資材を供給する。</li> </ul>
10	株式会社ウツヰかわい	三陸北部 久慈 三陸中部	21 23 25	スギ、 カラマツ外	4.00~2.00	7,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>長級限定の製材工場を稼働させ、省力化、生産性向上を図る。</li> <li>カラマツ、スギ構造用集成材の製造・販売により、国産材の利用拡大を図る。</li> <li>自社木質バイオマス発電所の運転により地域の森林資源の付加価値向上を図る。</li> <li>「復興住宅用資材供給委員会」に所属し、不足が懸念される構造材を供給する。</li> </ul>
11	有限会社川井林業 株式会社ウツヰかわい	三陸北部 久慈 三陸中部	22 24 26	スギ、 カラマツ外	2.00	6,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料用チップ工場を新設したことから、社外の各木質バイオマス発電所への供給を行う。</li> <li>製紙向け広葉樹チップの生産設備を更新したことから、稼働率を高め、製造コストの圧縮を図る。</li> <li>自社トラックの増車により、山元での滞留在庫の解消と輸送コストの削減を図る。</li> <li>県内外の素材流通業者との供給協定により山元と一体となった原木集荷を行う。</li> </ul>
12	株式会社沓澤製材所	米代東部	41	スギ	3.65	2,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工木材乾燥機、自動寸法装置等を導入し、低コスト化を図る。</li> <li>地元製材所の未乾燥材を受入れ、乾燥機を用いて製品の付加価値を高め、地域の林業・木材産業への貢献を図る。</li> <li>パーク・チップ・おが屑はボイラー燃料として資源の有効活用を図る。</li> <li>防腐加工をした下地用製材品の生産など、新製品の開発に取り組み。</li> </ul>
13	幸坂木材有限会社	米代東部	42	スギ	2.00	1,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツインバンドソーを用い、原木を製材し材料を安定的に供給し、コストの低減を図る。</li> <li>板製品の厚さ、幅について自動選別機使用、その後最終目視により規格寸法の精度向上を図る。</li> <li>製材した後に発生する端材等はチップ材、パレット材、肥料用として販売し、100%再利用を図る。</li> <li>ラミナ材を震災地の復興に必要な木材製品として供給する。</li> </ul>
14	株式会社神馬銘木	米代東部	43	スギ	2.00	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラミナ製材のライン一式、小径木専用製材機を導入し、コストの削減を図る。</li> <li>人工乾燥機を活用し、KD材の生産供給を図る。</li> <li>ブランド製品を首都圏へ出荷・販売することで秋田県産材のPRを行う。</li> <li>地域雇用を行うとともに、養護学校の実習等への協力を行う。</li> </ul>
15	有限会社林業小山組	米代西部	48	スギ	4.00~2.00	3,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社トラック運用により、流通コストの削減を図る。</li> <li>地元就業者の雇用の拡大を図り、大幅な事業拡大を図る。</li> <li>一貫作業システムの取り組みを拡大し、高性能林業機械での生産によるコスト削減を図る。</li> <li>原木の品質による仕分納入、山元選別により各取引工場のニーズに合った供給を行う。</li> </ul>
16	秋田県森林組合連合会	上小阿仁	47	スギ、 広葉樹	2.00	1,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての長級、径級の受け入れにより森林資源の有効利用を図る。</li> <li>製紙用チップ、バイオマスチップを含めた低質材の受入により新規需要を図る。</li> <li>流域単位での協同購入により、各工場の在庫量を見極め最も近い工場へ供給し、運搬距離の短縮とコスト削減を図る。</li> <li>国有林のみならず民有林のシステム販売を通じ、中山間地域の原木の生産、運搬、チップ製造による雇用の確立し地域経済への貢献を図る。</li> </ul>
17	北秋容器株式会社	米代東部 米代西部	44 50	スギ、 カラマツ	2.00	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオマスボイラーの燃料として販路拡大を図る。</li> <li>木質パレットの製造販売を通じて地域の林業・木材産業への貢献を図る。</li> <li>林業成長産業化地域構想に参画。連携組織を構築し、森林資源の最大利用を図る。</li> <li>曲がり材や多節等欠点材は粉碎アタッチメント付バックホーの導入により受け入れ可能。</li> </ul>
18	秋田県素材生産流通協同組合 秋田プライウッド株式会社	米代東部 上小阿仁 由利	40 45 53	スギ、 カラマツ	4.00~2.00	8,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>小径木用ロータリーレースを導入し、歩留まり向上を図る。</li> <li>単板の密度測定を行うメトリガード、半自動単板選別木、カメラスキャン等による自動選別を行い、強度・品質の向上を図る。</li> <li>海上コンテナを利用した製品の海外輸出を行う。</li> <li>内装用合板、全層杉合板の生産を行い、国産針葉樹材の消費増大を図る。</li> </ul>

整理 番号	協定者	該当森林 管 理 署	物件番号	代表樹種	長級 (m)	協定数量 (m3)	企画提案内容の概要
19	株式会社旭林業	遠野	30・31・ 32	スギ、 カラマツ	4.00～2.00	7,620	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 27台の高性能林業機械、フルトレーラー、グラップル付き大型トラックを所有し、生産・流通コスト縮減を図る。</li> <li>・ 全層スギ型桟合板、選挙ポスター掲示板、内装用合板の製造販売の拡大を図る。</li> <li>・ 県提唱の「森林ノミクス」とタイアップし、県産材を利用した「地産地消」に取り組む。</li> <li>・ チップダンプ車を増車し、チップの納品についてさらなる安定供給を図る。</li> </ul>
20	小国町森林組合	置賜	55	スギ	2.00	900	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社のグラップル付きトラックを活用し、直接積み込みによる流通コストの縮減を図る。</li> <li>・ 大型チップパーを導入、生産コストの縮減を図る。</li> <li>・ 木質バイオマス燃料を活用した公共施設への原料の安定供給を行う。</li> <li>・ チップ運搬用の大型トラックを導入し、流通コストの縮減を行う。</li> </ul>
21	株式会社北越フォレスト	宮城北部 仙台 湯沢 由利	36・37 39 52 54	スギ、 カラマツ外	2.00	8,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チップ製品について、24時間体制の受入れ。</li> <li>・ チップダストは菌床茸栽培用及び家畜の敷料。樹皮は土壌改良材・堆肥用として有効利用を図る。</li> <li>・ 広葉樹チップに加え針葉樹未利用材主体のチップ製造販売を行う。</li> <li>・ すべての長級、径級の受け入れにより森林資源の有効利用を図る。</li> </ul>
協定数量計						150,200	

平成29年9月19日

東北森林管理局長 小島 孝文